

(別紙)

全国中学校地理教育研究会

全国研究大会(2日目)スキルアップ講座

～100年の都市変容を「生きた教材」に変える授業デザイン～

「地形図の読解が、単なる地図記号の暗記や過去の追体験で終わってしまっている……」

「生徒の探究を駆動するような授業案を、一人で抱え込んで作るのは限界がある」

そんな悩みを抱える社会科教員のため、実践的・先進的なスキルアップ講座を開講いたします。本講座では、昭和・平成・令和の3地点の地形図比較(多時期比較)を起点に、都市空間構造の変化を社会背景と結びつけて分析するプロの「目」を養います。

さらに、本講座の最大の特徴は、「全国の意欲ある教員仲間との熱い協議(ワークショップ)」にあります。自分一人では気づけない多様な視点や他校での実践知を交えながら、GISやフィールドワークへ連動させる具体的な授業デザインを協働で練り上げます。

東京の100年を動的な生きた教材に変え、生徒自らが未来の都市課題を批判的に考察できる力を育む一次世代の地理教育を、志を同じくする仲間とともに作り上げてみませんか？

■ 対象 ※ “地理” “地図” に苦手意識のある方、若手教員の方、是非お待ちしております！

中学・高等学校教員、地理教育・都市論・探究学習等に関心のある方

■ 日時・会場・参加費用

令和8年8月8日(土) 9:30～

日本大学経済学部(東京都千代田区神田三崎町/最寄駅:JR総武線水道橋駅)

一般2,000円(大学生・大学院生は1,000円)

■ 講師

ト部勝彦(日本大学経済学部教授/全国中学校地理教育研究会会長)

■ 目的

昭和・平成・令和の地形図読解(多時期比較)を起点に、都市の空間構造の変化を社会背景と結びつけて分析する技能習得を目指します。さらに、それを生徒の主體的な「探究」へと昇華させるためのGIS活用・授業デザインスキルの獲得を目指します。

■ 本講座で向上する4大スキルと到達目標

1. 多時期比較・空間的思考力

- 昭和・平成・令和の地形図から変化の根拠を緻密に示し、地形の起伏と土地利用の相関、都市開発の必然性や課題を多角的に説明できる。

2. 社会背景の構造化思考力

- 地域の100年間の変遷を「持続可能性」や「歴史的景観の継承」という文脈で捉え、現代の都市問題と結びつけて構造化できる。

3. 教材化・授業デザインスキル

- 地図の比較から問いを生み出し、GISやフィールドワークと連動させながら生徒の探究を駆動する具体的な授業案を構築できる。

4. 協働的カリキュラム開発力

- 他の受講者(教員・研究者)との協議やフィードバックを通じ、多様な授業アプローチや生徒の実態に応じた柔軟な実践プランを共創・洗練できる。

■ カリキュラム（全 3 セッション）

セッション	テーマ	主な内容・ワーク・協議要素
Session 1	地形図読解と多時期比較の極意	【技能の習得・活用】 昭和元年・平成二年・令和元年の地形図を比較し、運河の埋め立てや微地形と土地利用の相関を読み解きます。 ★ピア読解ワーク：グループ内で互いの気づきをシェアし、自分一人では見落としていた「地域の変容サイン」を補い合います。
Session 2	社会背景との連動と要因分析の構造化	【分析と考察】 土地利用の変化を、震災復興、高度経済成長、デジタル化といった社会経済的背景と結びつけ、「過去の必然」を論理的に説明する力を高めます。 ★要因分析セッション：「なぜこの変化が起きたのか」について、異なる地域・校種の教員と多角的に議論し、構造化の視点を広げます。
Session 3	探究を引き出す 授業デザインと共創	【統合的な解釈・構想・協議】 生徒の「素朴な問い」を誘発する発問、GIS 活用、過去と現在が交差するフィールドワーク（FW）ルート案などを含む指導案を構想します。 ★模擬授業・指導案ピアレビュー：作成した授業案を互いに発表・協議し、「生徒からどう見破られるか」「GIS の操作負荷はどうか」など、実践レベルでのブラッシュアップを行います。

「孤立した教材研究」から、実践者が響き合う「探究共同体」へ

地理教育における教材化の最大の壁は、「自分一人の視点に固執してしまうこと」です。本講座では、異なる背景を持つ教員同士が、地形図という 1 枚の共通言語を挟んで「問い」や「授業案」をぶつけ合います。「かつての開発はなぜ必然だったのか」という歴史的構造を理解した上で、「では、これからの 100 年で私たちはどのような街を選択すべきか」を生徒自身が主体的に選択・判断できるクリティカルな授業を、孤独な作業ではなく、全国の仲間との熱量ある対話（探索的会話）を通じて共創します。優れた授業は一人では生まれない。仲間との対話のなかにこそ、未来の教室を動かす『問い』が潜んでいる。！

